

主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部
	19103	介護予防事業	室名	高齢障がい支援室
	基本施策の大綱	04:生きがいを持てる福祉の展開	財	会計
	基本施策	04:高齢者の多様な生活スタイルの支援	務	款
	施策の方向	01:地域包括ケアの推進	科	項
戦略プロジェクト	03:みんな健康プロジェクト	目	目	03:老人福祉費
事業予定期間	H 18 ~ H - 年度		主な根拠法令要綱等 介護保険法	

② 目的・概要	対象	一般高齢者
	目的	高齢化の進行から介護保険制度において、今後ますますサービスの増大が見込まれている。高齢者の健康寿命を伸ばし、地域で生きがいをもって生活していくために、高齢者自らが介護予防に取り組む必要性について認識し、要支援や要介護状態に移行しないよう、介護予防事業を実施する。
概要	一次予防施策	介護予防に向けた取組が、主体的に実施できるような地域社会の構築を目指して、健康教育・相談等を行う。
	二次予防施策	要介護状態となるおそれの高い虚弱な高齢者を対象に、主として運動機能向上・栄養改善・口腔機能向上等の事業実施を行い、状態悪化防止を目指す。

		平成27年度	平成28年度	
③ 年度別事業計画	事業内容	介護予防一次予防施策 ・介護予防普及啓発事業 介護予防パンフレット等の作成 介護予防教室の開催 ・地域介護予防活動支援事業 看護師による高齢者の訪問	介護予防一次予防施策 ・介護予防普及啓発事業 介護予防パンフレット等の作成 介護予防教室の開催 認知症予防対策 ・地域介護予防活動支援事業 看護師による高齢者の訪問	
		介護予防二次予防施策 ・二次予防対象者把握事業 高齢者訪問(在宅介護支援センターに委託) ・通所型介護予防事業 運動機能向上教室や口腔機能向上・栄養改善教室の開催	介護予防二次予防施策 ・通所型介護予防事業 運動機能向上教室や口腔機能向上・栄養改善教室の開催	
	計画額	事業費	21,000千円	23,700千円
		国庫支出金		
		県支出金		
		地方債		
		その他	21,000千円	23,690千円
	予算額	事業費	20,732千円	23,692千円
		国庫支出金		
		県支出金		
地方債				
その他		20,700千円	23,692千円	
期間内総事業費(H27・H28)①		44,700千円	期間外事業費(H29以降)② -	
		総事業費 (①+②) -		

		平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)		
④ 指標	① 名称	出張介護予防教室開催数	50	55	60	
		出張介護予防教室の開催数(年間)				
	補足	活動	計画値	50	55	60
		単位	回	回	回	
② 名称	出張介護予防教室参加者数	750	830	900		
	出張介護予防教室への参加者数(延べ人数)					
補足	活動	計画値	750	830	900	
	単位	人	人	人		
③ 名称		計画値				
	補足	単位				
④ 名称		計画値				
	補足	単位				

事務事業評価シート

H27(主要事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部
	19103	介護予防事業	室名	高齢障がい支援室
	基本施策の大綱	04:生きがいを持てる福祉の展開	財	会計 01:一般会計
	基本施策	04:高齢者の多様な生活スタイルの支援	務	款 03:民生費
	施策の方向	01:地域包括ケアの推進	科	項 01:社会福祉費
戦略プロジェクト	03:みんな健康プロジェクト	目	目 03:老人福祉費	

② 目的・概要	対象	一般高齢者
	目的	高齢化の進行から介護保険制度において、今後ますますサービスの増大が見込まれている。高齢者の健康寿命を伸ばし、地域で生きがいをもって生活していくために、高齢者自らが介護予防に取り組む必要性について認識し、要支援や要介護状態に移行しないよう、介護予防事業を実施する。
	概要	一次予防施策・・・介護予防に向けた取組が、主体的に実施できるような地域社会の構築を目指して、健康教育・相談等を行う。 二次予防施策・・・要介護状態となるおそれの高い虚弱な高齢者を対象に、主として運動機能向上・栄養改善・口腔機能向上等の事業実施を行い、状態悪化防止を目指す。

		27年度		28年度	
①	名称	出張介護予防教室開催数	計画値	50	55
	補足	出張介護予防教室の開催数(年間)	実績値	62	
			単位	回	回
②	名称	出張介護予防教室参加者数	計画値	750	830
	補足	出張介護予防教室への参加者数(延べ人数)	実績値	1331	
			単位	人	人
③	名称		計画値		
	補足		実績値		
			単位		
④	名称		計画値		
	補足		実績値		
			単位		

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績	介護予防一次予防施策 ・介護予防普及啓発事業 介護予防パンフレット等の作成 介護予防教室の開催 ・地域介護予防活動支援事業 看護師による高齢者の訪問				介護予防教室 (一次予防施策) ・出張介護予防教室(委託) 47回 984人 (直営) 15回 347人 ・一次介護予防教室(委託分) 130回 2,912人 ・しゃきしゃき体操教室 7回 44人 ・しゃきしゃき体操教室(OB会支援) 6回 80人			
	介護予防二次予防施策 ・二次予防対象者把握事業 高齢者訪問(在宅介護支援センターに委託) ・通所型介護予防事業 運動機能向上教室や口腔機能向上・栄養改善教室の開催				(二次予防施策) ・運動器の機能向上教室 53回 138人 ・栄養改善教室 6回 6人 ・口腔機能向上教室 11回 20人			
	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	5,688	平均給与額×③	
	国庫支出金		0		一般職員人件費 ②	5,688		
	県支出金		0		所要人員 ③	0.75		
	地方債		0		臨時職員人件費 ④	0		
	その他	21,000	20,700	0	受益者負担額 ⑤			
	一般財源	0	32	13,998	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額		0				
	総人件費		①	5,688				
	総コスト		⑥	19,686				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	一次予防施策については、介護予防のてびきの配付、介護予防教室等の開催により、生活の中で介護予防や健康づくりにつなげる啓発を行うことができた。しゃきしゃき体操教室では、自主グループ活動の継続に向けた転倒予防教室を行い、終了後はOB会となり、活動を継続し、現在8地区で自主的にOB会として活動している。	総合判定	B まずまず進んだ
	【反省点・課題】	二次予防施策においては、参加者が少ないため、口腔機能向上教室を個別対応だけでなく、集団を対象とした教室を実施する等工夫をしたが、参加人数の増加にはつながらなかった。二次予防教室は、国の実施要項に基づき実施しているが、参加基準は指定の「基本チェックリスト」該当者が対象であり、誰でも気軽に参加できる教室ではない。そのため参加人数も少なく、参加者自身も参加しにくい教室となっている。		
	【改善の方向性】	介護保険法改正に伴い、平成29年度開始の介護予防総合事業に移行できるよう、一次・二次と教室を明確に分けるのではなく、一体的な形で、柔軟に利用者を受け入れられる教室に再編成できるよう、今年度は移行準備を行う。		
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 長寿健康づくり室長 駒谷 みどり	